



414  
A1047

一 津省出納津用三井以野古親之手取方  
 以作付相親知事如令取去應有并拾号以市共  
 其基中概之由亦相親知事及并相共之付取或後有  
 以村之支是公并河身高親津用之親區別は  
 津省之親支取書也之并親概之由亦以應有之出之  
 方今以親人之別親知事書之通早區區別相之取  
 津省之官守取之沙流之親支取上地  
 明治廿九年十月十日  
 三井組

三井組 明治廿九年十月十日

大正十一年四月  
大隈侯爵邸寄附



陸軍津省

并五局津中

以書初寺伊島原

第十月十七日在津得書

一全武方以分若

五櫻回款七所

一全武方以分若

一全武方以分若

省中任

一全武方以分若

一全武方以分若

五櫻回款七所

一全武方以分若

一全武方以分若

五櫻回款七所

一全武方以分若

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

方 規 古 規

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

五 月 十 日

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

東 陸 古 規

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

七 月 十 日

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

九 月 十 日

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

身 元 古 規

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

冬 保 古 規

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

既 經 古 規

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

分 國 古 規

一 年七十月九日

七 日 九 日 十 日

招 提 古 規

合計

年々松方百石。之松方百石。之松方百石。之松方百石。

内

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石

三井物産

年々松方百石。之松方百石。之松方百石。之松方百石。

西暦七年  
正月廿九

三井物産

陸軍省

兵部尚書

以書初書中之也

當他處出納所用相勅在陸軍省者亦用者

正院

當他處出納所用相勅在陸軍省者亦用者

左內省

右以以

陸軍省

右以以

大阪陸軍

右以以

日新機關

右以以

大阪府

右以以

兵庫縣

右以以

著地事務局

当座并少壯化と有用な區別の  
上は経済的発展を促す

屯田知縣

右田以

滋賀縣

右田以

東京府

当座并少壯化と有用な區別  
の上は経済的発展を促す

敦賀縣

当座并少壯化と有用な區別  
の上は経済的発展を促す

当座并少壯化と有用な區別

工部省

鉄道省 製鉄所 工部省  
留置所 渡山所

外務省

文部省

開成学校 医学学校  
法学校

博覧會事務局

開拓使

地理寮

兵學寮

東京法務局

多摩法務局

廣済法務局

京都府

日裁判所

神奈川縣

日税関

新澤縣  
 子系縣  
 新治縣  
 多城縣  
 水津縣  
 靜島縣  
 法華縣  
 之重縣  
 度會縣  
 和彥山縣

山口縣

右之通出納所用向石極屋在右者是之極高  
 高石洞之上下等處之石乃重竹車右洞有密  
 中洞縣中洞洞中處處皆有石屋其屋  
 心之

之井池

總之清

明治七年七月十日

之野村利右衛門

大藏經省